

ニッカン

ソフト日本

米国撃破

# 最初の金

# 最後の金



日刊スポーツ NIKKAN SPORTS

2008年8月21日(平成20年)木曜日  
www.nikkansports.com

北京五輪  
ソフト

◇21日◇決勝

日本が悲願の金メダルを獲得した。4連覇を目指した米国を相手にエース上野由岐子(26)ルネサス高崎)が鉄腕を発揮。強打の米打線を1点に抑え、3-1で初の金メダルをもたらした。

日本は3回に1番狩野の適時打で先制。4回には3番山田の本塁打で2点目を加え、7回にもダメ押しした。前日20日に準決勝、3位決定戦で計21イニング、318球の熱投を演じた上野が7回完投で、初優勝を引き寄せた。

1996年アトランタ五輪から採用されたソフトボールは米国が3大会連続V。アトランタ4位、シドニー銀、アテネ銅と頂点にあと一步で立っていなかった。2012年ロンドン五輪で野球と同様に実施競技からの除外が決まっていただけに、最後のチャンスで手にいれた。球技としては、日本勢では76年モントリオール五輪バレーボール女子以来、32年ぶりの快挙

気になる結果はケータイでもチェック!  
スポーツニュース 満載!!



朝日・日刊スポーツ



購読申込 ☎0120・81・4356 インターネットからは 購読申込

金メダルを獲得した日本の選手たちはNO1ポーズで右手を突き上げる。左後方はガッツポーズの斎藤監督(撮影・宇治久)